

令和元年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第7号（果樹）



令和元年8月13日 発表 広島県西部農業技術指導所
対象期間 令和元年8月13日～9月中旬
※次回の予報は9月18日頃です

もくじ


- 1-(1) かんきつ病害虫の現況と予報（概要）・・・P1～2
- 1-(2) かんきつ病害虫の現況と予報（詳細）・・・P2～5
- 2 果樹カメムシ類の発生状況・・・P5
- 3 気象情報・・・P6
- 4 お知らせ・・・P6

かんきつは南部の以下の地域が対象です。
※西部：竹原市以西の沿岸島しょ部
東部：三原市以东の沿岸島しょ部

| 1-(1) | | かんきつ病害虫の現況と予報（概要）8月1～6日調査 | | |
|------------|---------------|---------------------------|---|--|
| 病害虫名 | 現況 | 予報 | 防除上の注意事項（防除時期） | |
| 黒点病 | 少 | 少 | ◇黒星病防除剤散布後、累積降水量が250mmを超えるか、1か月経過したら追加で防除を行う。 ◇樹上の枯れ枝および園内の剪定枝は伝染源となるため、除去し園外で処分する。 | |
| かいよう病 | 並 | 並 | ◇強風雨でかいよう病菌の感染が助長されるため、台風襲来前に防除を徹底する。 ◇窒素肥料の多施用による新芽の遅くまでの発生は感染を助長するため、肥培管理は適切に行う。 ◇ミカンハモグリガの食害痕から感染しやすいので加害された夏梢を切除し、防除の徹底を図る。 | |
| ミカンハダニ | 少 | 少 | ◇8月以降に発生すると、果実の外観品質を損なうので注意する。 ◇薬剤が葉裏にもかかるようにていねいに散布する。 ◇薬剤に対する感受性低下を防ぐため、同系統の薬剤の連用は避ける。 | |
| ミカンサビダニ | やや多 | 多 | ◇特に、裾なり、内なりの果実での発生に注意する。 ◇薬液のかけむらがないようにていねいに散布する。 ◇薬剤に対する感受性低下を防ぐため、同系統の薬剤の連用は避ける。 | |
| ナシマルカイガラムシ | 並 | 並 | ◇孵化幼虫時期に薬剤散布を行うと効果が高い。 ◇発生が見られるほ場では、第2世代幼虫発生盛期の8月中旬に防除を行う。 | |
| ヤノネカイガラムシ | 並 ※一部圃場で発生 | 並 | ◇発生が見られるほ場では、第2世代幼虫期の8月中下旬に防除を行う。 | |
| イセリヤカイガラムシ | 並 ※発生なし | 並 | ◇移動性が低く、ほ場の一部に集中して発生することが多いため、寄生部位を中心に周辺の枝葉果実の状況を確認し、見つけ次第補殺する。 | |

| 病害虫名 | 現況 | 防除上の注意事項(防除時期) |
|-------------|----|--|
| チャノキイロアザミウマ | — | ◇第5世代、第6世代の発生ピークは、気温が平年並みに推移した場合、それぞれ8月18日、9月6日と予測される。 ◇発生ピーク予測日の7日前～発生ピーク当日の防除が、効果が高いとされている。 |

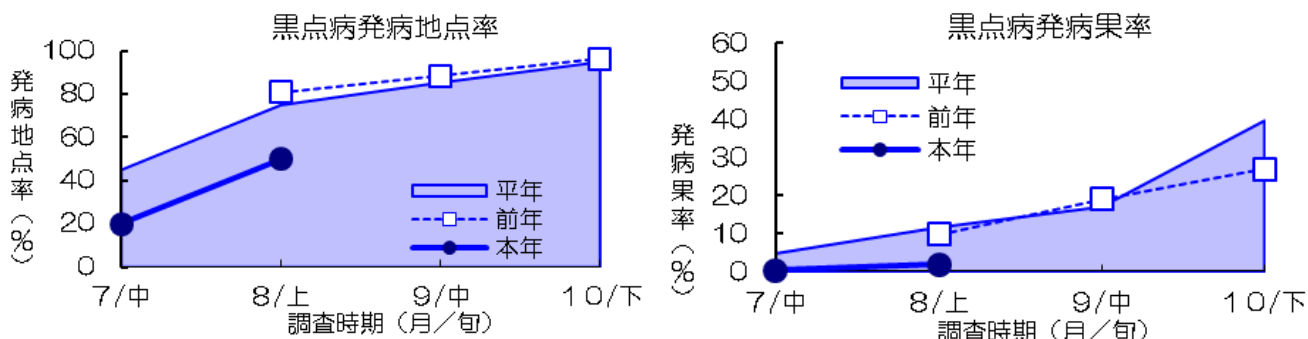
1-(2) かんきつ病害虫の現況と予報(詳細)

| | | | |
|---|---------|--|-----------------------------------|
| 黒点病  | 現況(平年比) | 予報の根拠 | (+) : 多発要因, (±) : 平年並, (-) : 少発要因 |
| | 少 | | |
| | 予報(平年比) | ◆巡回調査では平年に比べ少ない発生であった。 ◆向こう1か月の降水量は少ない40%, 平年並30%, 多い30%と予想されている(±) | |


防除上の注意事項

◇防除間隔は長くても1ヶ月以内とする。また、前回防除以降、累積降水量が250mmを超えたら追加防除を行う。

巡回調査データ

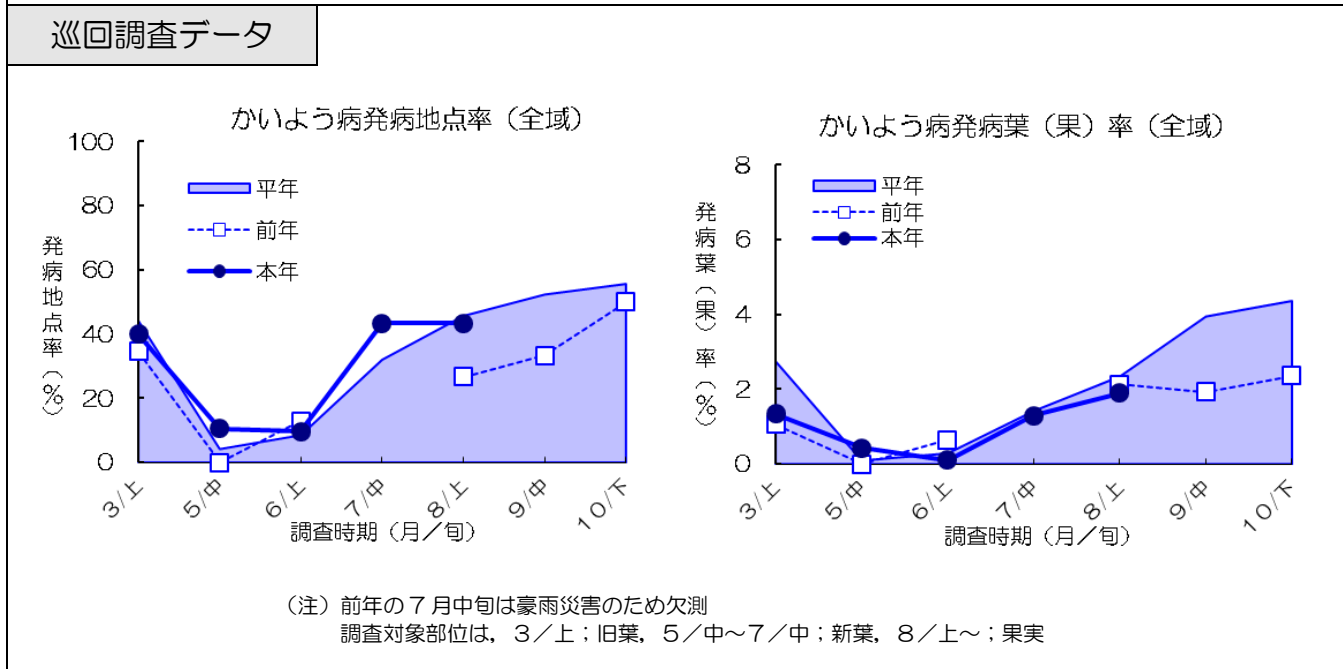


(注) 前年の7月中旬は豪雨災害のため欠測

| | | |
|---|---------|--|
| かいよう病  | 現況(平年比) | 予報の根拠 (+:多発要因, (±):平年並, (-):少発要因 ◆巡回調査では、平年並の発生であった。 ◆向こう1か月の降水量は、少ない40%, 平年並30%, 多い30%と予想されている(±) |
| | 並 | |
| | 予報(平年比) | |
| | 並 | |


防除上の注意事項

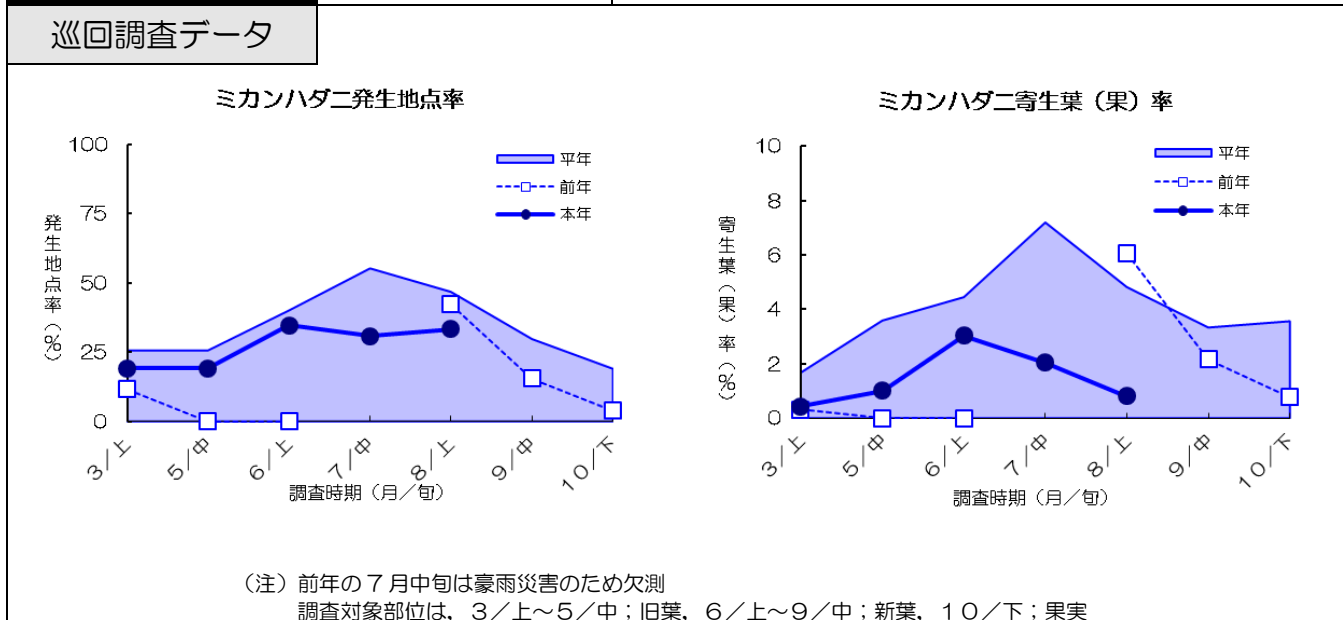
◇強風雨でかいよう病菌の感染が助長されるため、台風襲来前に防除を徹底する。
 ◇窒素肥料の多施用による新芽の遅くまでの発生は感染を助長するため、肥培管理は適切に行う。
 ◇ミカンハモグリガの食害痕から感染しやすいので、加害された夏梢を切除し、防除の徹底を図る。




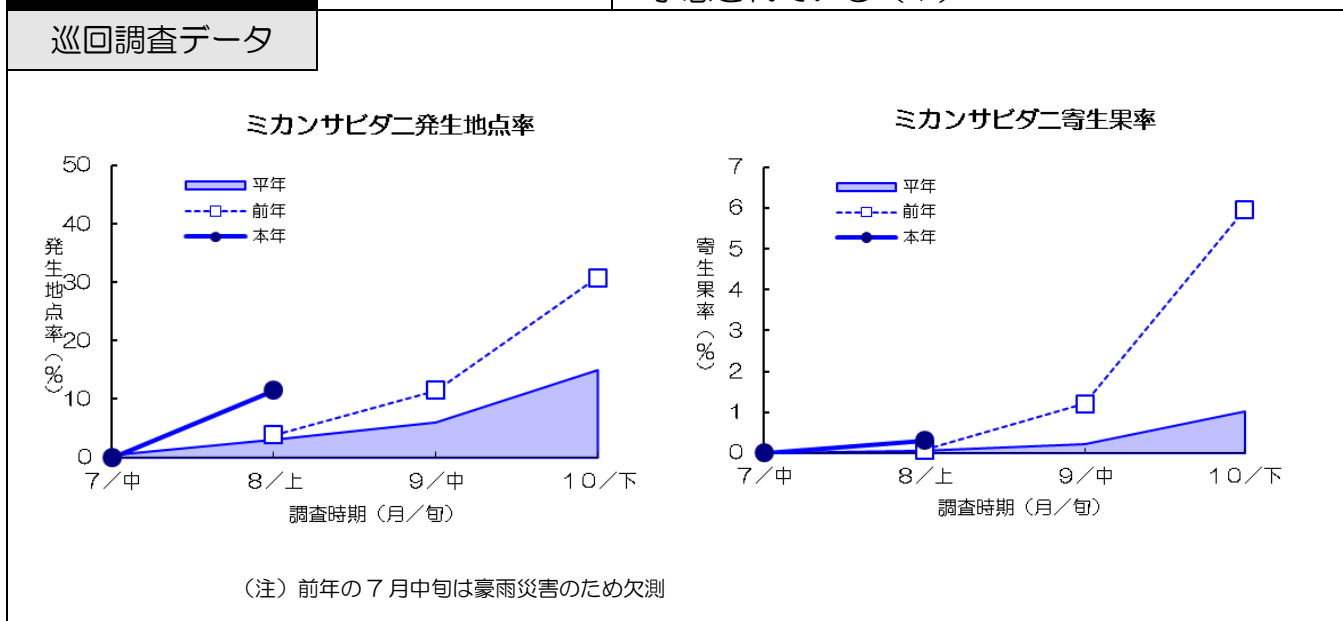
【発生量について】
 「予報」「現況」は、「多、やや多、並、やや少、少」の5階級に区分しています。区分の方法は、原則として、過去10年間の同時期の調査結果の数値を、発生が多かった順に並べ、相対比較しています。

「多」 : 1番目(最多年)と同程度以上
 「やや多」 : 2~3番目と同程度
 「並」 : 4~7番目と同程度
 「やや少」 : 8~9番目と同程度
 「少」 : 10番目(最少年)と同程度以下

| | | | |
|---|----------|----------|--|
| <h3>ミカンハダニ</h3>  | 現況(平年比) | 少 | 予報の根拠 (+):多発要因, (±):平年並, (-):少発要因 ◆巡回調査では, 平年に比べ少ない発生であった。 ◆向こう1か月の降水量は, 少ない40%, 平年並30%, 多い30%と予想されている(±) |
| | 予報(平年比) | | |
| | 少 | | |



| | | | |
|--|----------|------------|---|
| <h3>ミカンサビダニ</h3>  | 現況(平年比) | やや多 | 予報の根拠 (+):多発要因, (±):平年並, (-):少発要因 ◆巡回調査では, 平年に比べやや多い発生であった。 ◆向こう1か月の平均気温は, 高い70%, 降水量は少ない40%, 平年並30%, 多い30%と予想されている(+) |
| | 予報(平年比) | | |
| | 多 | | |



チャノキイロアザミウマ



チャノキイロアザミウマは、防風樹として利用されているイヌマキやサンゴジュなどが発生源となり、かんきつ園に飛来する。この虫に果皮を加害されると外観が著しく悪くなる。

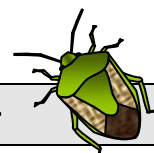
チャノキイロアザミウマは、気温の推移から成虫の発生が多くなる時期（発生ピーク）を予測することが可能である。防除適期は、発生ピークの7日前

からピーク当日が効果的であることが分かっている。

例年被害がみられるほ場では表1を参考に、この時期に合わせた防除を行う。

表1. チャノキイロアザミウマ成虫発生ピーク予測日（生口島アメダスデータに基づく）

| 今後の気温 | 発生ピーク予測日 | |
|--------------|----------|------|
| | 第5世代 | 第6世代 |
| 平年より高い (+1℃) | 8月18日 | 9月4日 |
| 平年並 | 8月18日 | 9月6日 |
| 平年より低い (-1℃) | 8月19日 | 9月8日 |



2 果樹全般 —カメムシの発生に注意しましょう—

県内5地点の集合フェロモントラップへの誘殺状況は、8月第1半旬まで平年並～やや多で推移している。

表2. 県内各調査地点におけるチャバネアオカメムシ累積誘殺数（～8月第1半旬） 単位：頭

| 設置地点 | 本年 | 平年 ※1 | 注意報発表年 平均 ※2 | 注意報未発表年 平均 ※3 |
|----------|-------|-------|-----------------|------------------|
| 東広島市安芸津町 | 290.9 | 737.0 | 1743.0 | 305.8 |
| 福山市神辺町 | 185.7 | 91.6 | 141.3 | 66.7 |
| 世羅町 | 420.4 | 585.6 | 2101.6 | 135.5 |
| 庄原市東城町 | 77.0 | 185.1 | 529.9 | 37.3 |
| 庄原市高野町 | 73.0 | 412.8 | 1322.0 | 23.2 |

※1 各調査地点の平年とは、過去10年（平成21年～）の平均値

ただし、福山市神辺町のみ過去9年（平成22年～）の平均値

※2 注意報発表年は、注意報を発表した年（平成22、24、26年）

※3 注意報未発表年は、平成21年以降で、平成22、24、26年を除いた年

ほ場内をよく見回り、発生が認められた場合は速やかに防除を実施する。

また、集合フェロモントラップへの誘殺状況等、今後発信する情報に注意する。

7月11日付で果樹カメムシに関する技術情報第2号を発表しているため、そちらも参考に

※調査データは、広島県のホームページをご覧ください。

3

気象情報

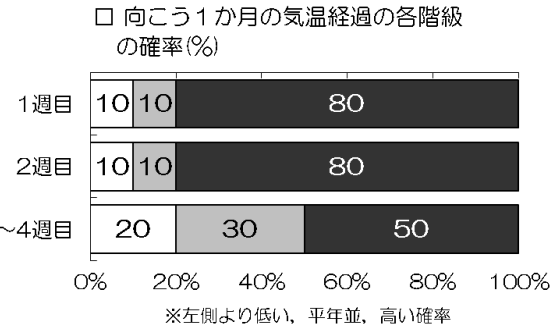
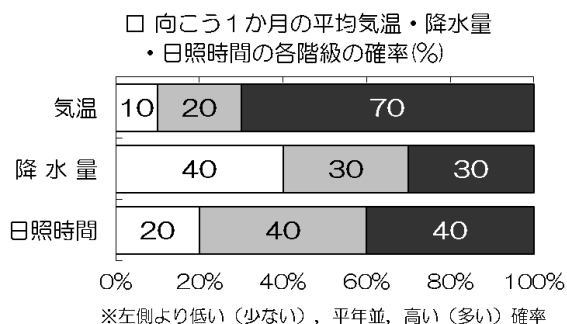
中国地方1か月予報

(広島地方気象台8月8日発表, 8月10日から9月9日までの天候見通し)

平年と比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率70%です。降水量は少ない確率40%、平年並みまたは多い確率ともに30%です。日照時間は、平年並みまたは多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は高い確率80%です。2週目は高い確率80%です。3~4週目は高い確率50%です。



4

お知らせ

◇病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは、広島県ホームページで閲覧できます。



アクセスはこちらから!



<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>

農薬危害防止運動を実施中(6月1日~8月31日)

農薬を使用する際は、ラベル表示を十分に確認して、使用方法や注意事項を守り、農薬による危害と事故を防ぎましょう。

今回の病害虫発生予察情報に関するお問合せ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739-0151 東広島市八本松町原6869
電話: 082-420-9662 (直通)

広島県 植物防疫

検索